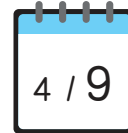


まちの話題



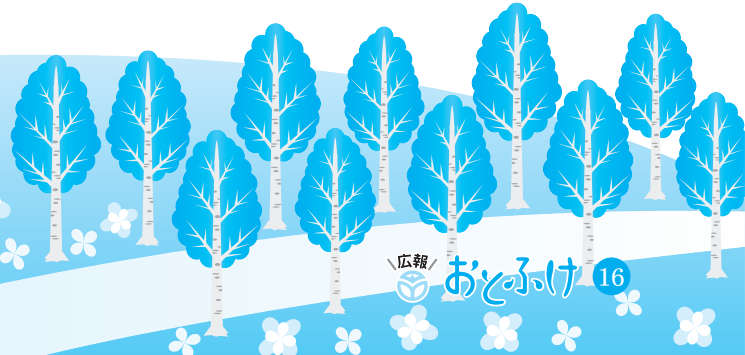
第8子誕生のお祝い

稔地区で農業を営む水上芳広さんと修子さんご夫妻に、第8子目となる美虹ちゃんが誕生し、小野町長がお祝いに自宅を訪れました。父：芳広さんは「長女美來のためにも女の子が欲しかった」と、母：修子さんは「上の子たちが交代で面倒を見てくれるので本当に助かります」と終始笑顔で話してくれました。小野町長から「家族みんなで協力して育てている姿が本当に美しい」とお祝いの言葉が贈られました。右から：祖父：広さん(68)、翔汰朗くん(4)、美虹ちゃんを抱っこする美來さん(10)



学校楽しむぞ

町内の小・中学校で4月9・10日に入学式が行われました。今年は小学校に320人が、中学校に441人が入学。うち19人が入学した駒場小学校では、一人ずつ名前を呼ばれると元気よく返事をしながら立ち上がり、みんなで声をそろえて「よろしくおねがいします」とあいさつ。保護者や在校生からは拍手が送られ、児童会長の高橋美妃さん(6年生)からは「学校生活や勉強を頑張ってください」とお祝いの言葉がありました。





めざましい活躍をたたえて



文化センターで平成29年度音更町スポーツ賞等表彰式が行われました。18個人3団体が表彰され、個人には楯が、団体には楯と一人ひとりにメダルが贈られました。スポーツ功労賞を受賞した福井豊さんは「周りの人の支援をいただいて活動できた。これからもご支援お願いしたい」と謝辞を述べました。



名前上手に彫れたよ！



生涯学習センターで春休み書道講座『楽しいはんこ作り』が行われ、石に自分の名前の1文字を彫りました。周りを残して文字の部分だけを彫る『白文』と周りを彫って文字を残す『朱文』を選び、難しい漢字に苦労しながらも、皆さんできあがりに満足した様子でした。



備えあれば憂いなし



宝来地区町内会連合会の第1回定例役員会が開かれ、災害時に円滑な避難所運営を図るための『避難所運営委員会』の役員が決定しました。連合町内会単位の避難所運営に関する組織ができるのは町内初です。会長の小川賢一さんは「もしもの時にスムーズに活動できる委員会にしたい」と話してくれました。



新しい時代を引っ張るのは自分



文化センターで講師に慶應義塾大学経済学部教授の金子勝さんを招き、TPPに関するまちづくり講演会『どうなる？私たちの暮らし』が開催されました。金子さんは「農業が知的に遅れた産業だと思われているのがもう古い。今は時代の転換期。目指すものをイメージしないと勝てない」と話してくれました。